獨ツ開戦と東亞

飛躍に備ふ絕好期

十八 百餘機 撃墜破

獨司令部一初の戦果發表

獨機大學式爆擊

日に早くも

公社債·株式

海鷲、鵬翼を連ね 第十三次重慶爆擊 敞殘存施設、木,端微塵

繋を敢行した。すなら野球をを整備を上中で石町石駅、二野町高井駅木上等日なら店舗を織けてある海軍航空部隊は廿九日○○機の大編隊を





が脱が腹弾され、守敷の膨繁をとってあるのはこの、せんとする、ルツオウの方、関係で、関部脱靴の運動がむしろ、後を仰き、火・ツオウの方、関係で、関部脱靴の運動がむしろ、後を仰き、火・ウル・ウク

を呈して來た、黴氧の攻戯主力一方フインランド酸線も漸く活

九十八日の ソ勝側軍 遺跡を目指す腹形は響々道打ルリン特電【廿八日」ツ側の企圖する赤軍野戦主刀

スターリン氏前線

同盟」ローマの新職級

か背後を衝き 亦軍を一擧に殱滅

獨リ兩軍主力衝突 ミンスク西南で死闘展開

多数に上り、これらり職 脚かなもので、ドイツ軍 脚かなもので、ドイツ軍

れてをり、ホーランドのなく、優方、此方で ンにおける過去 特電【廿八日

ぬする謎の 即画潮を突っを解けてゐるが、ひ 監察から遊れようと

関対を壓縮・動桶の包

願印對日コム禁輸

- 島上陸も傳へられ

上海百九日同盟」重感來罷によれ一洋問題の徹威として知られてゐる

蔣、政治顧問に ラティモア氏

伊福部隆彦著生活の関拓(十版)BIMINITATE 藤原銀火耶著(八十版)

伊

部

道 老郎次芳須高^{學文} 錢拾五圓貳金 ^{入函・判 5 A} 本美真二七二 科逻 经五拾 説明依事起中歷唱確然學し鮮精皇本かと日は皇 なり例すに史導立たの日明神道書?は本何道 解鮮にる生のすをる嚴本にをのは 何學かと

The State of the S

の後獨の戦勝機

ロシヤスロシヤ人の環境に 粒の米を愛する心。聖器の 理解が配合の根本の根本の で 2 変換的 1 変換的 2 変換的 2 変換的 2 変換的 2 で 1 変換的 2 で 2 変換的 2 変換 滿洲事變秘史 ★ KENCLE A K

七月一日閉館 ラン桑港獨領事館 しサ

天の夕顔

宇河 奥 ・著

本篇の主人公こ

社 図 報 四ノニ級本・京東 田五六二七一京東・菅茄

定價1-60、〒10

敗を

筆大



刊新金臺面八拾 **八拾**遊

連鎖堡壘を陷す

続って主力東新は久方振 一気配 株式 猫ソ戦争

国情が表現して、「日間には、「日間には、「日間には、「日間には、「日間には、「日間には、「日間には、「日間には、「日間には、」、「カーリーンを配て今秋」「日間のの選定」「日間のの選定」「日間のの選定」

衆議院南米 【東京電話】 衆議院南米 【東京電話】

で送外車を完備なさまでに機能し

振者東京五九七四八番今日の問題計

品切の節は本社へ無代進星

4成金の夢7隣組の奥さん 新野の煙や横型して 3看板むすめ 6花嫁列車 関連なしで好調 鉄 1旦那と奥さん 5見合ひ結婚 ※元を開始のできなして ・関語は5・職業の職

金語樓。新作落語

本 八、線・三上正教辞 B大判三七〇貫上製術人・同二國五十餘・下十四銭
・下・八・線・三上正教辞 B大判三七〇貫上製術人・同二國五十餘・下十四銭
・大・八・線・三上正教辞 B大判三七〇貫上製術人・同二國五十餘・下十四銭
・大・八・線・三上正教辞 B大判三七〇貫上製術人・同二國五十餘・下十四銭

+1

優|個四十錢·〒十四年

のゆる階級の人々に長非一歳をするめた。というない。というない。というない。というないのにいったかない。というないのにいいないが、思想と生活の行話のから自殺ない。というないのでは、この苦難を含は人に戻して

大判三六〇頁並以

問組の朝鮮支店

厭味のな

田正雄譯

統制

新案

滿鐵調査部編

中龍雄著

発育5 第二六 ・・・

刷新論

學を歴史的聯關にないて展よりも緊要である。本辭典の哲學思潮を綜合的に理解

確固たる世界観を確立するよ

四十六名

蜂蜜の販賣先

獎勵金並に萬樽礼決定 水産勞務者賃銀、給與

鹽酸浸 波多 日 大数段野村乘太郎 野

酸 鹽野谷九 力 大質領・五〇

登 他 史

るもの 論社 · 8論 後

治著

野 定

早期操業を斷行

間に交渉中である

権に付三十銭の割合を以て加給すると、関係に付三十銭の割合を以て加給すると、関係末隣の漁獲高に對した組織の割合を以て加給する。

新

FI

日京

本篇

氣波

重動

多野

着網組合の懸案

いたへ備にめたの見愛 繪學科・記傳・話童

以上 一局 馬水 小 多色刷六十錢四年

用品使用を奨勵

電氣發動機製作所

九七木村明秀)

原分方法(山羊楽人)

買入先

毛

兎竇 捌 先 道監督に斡旋方 皮脫脂

答

鮮

魚

介配給統制規則解

山羊飼育參考書

業

は近月中獲得所要の勞務者

養蜂巣礎販賣店

0)

廻狀況

 \mathcal{E}

水産王國咸北の對策

募集 あるが南者ともする

漁獲成績

は好調

咸南水武の海洋觀測さ

り鰮の廻

游

況

調

海況 (東朝東在)

只今發賣中 新店にて實物都檢討の上 基係 本社へお申込み下さい書店に品切の節は直接

はたのなみ

して書かれてある。 多色刷六十錢 横本 楠郎著

是 二瀬 田 尉

南部に日常版を施へする 多色刷六十錢 多色刷六十錢

お興へ下さい。神田小変物御検討の上東京 七月十三日發賣 定価を三十五機 本ミシン綴 館 (腰替・東京)

繪

御検討顧ひます。 が排はれてゐます が排はれてゐます。 を当的の苦心考慮 を当れてゐます。 玩具代用の新案幼兒繪本

二才から四才までのお子様の 鑑賞觀察と情操陶冶を兼ねた

七月十三日發賣 い纜を愉快に見ながら、自然に無理なくおけいこで、「編んであります」 東京小學館

を、別な材料で、正しく軽く練習出来書と選絡しておきて

池松良雄著

一年生上二年生上

頁八十六·判5B 副 色 五 麗 美 鐵 十 五 各 價定

西原慶一著高橋庸男畵

ハナントクホ

研究所明世寮 沼野さり

長男の着物を着せて

喜ぶ應召農家の父

鍬の青年隊に美はし内鮮一體

同家の次男國民學校二年生河次君

なく一同項る元氣です、内地機ない、共同で要の徹底なり、場合で要の徹底なり、場合で要の徹底なり、場合で要の徹底なり、場合で表別です。大地機

は行つて來ます。

如醫學の楔

が厭世自殺江原道廳員

愈よ城大醫學徒出發!

敷々の體験

飛び越える、炎天下に人馬一階の 武道大曹馬徹郡技が郵後に鏝。 一部馬揚に開かれた第二回京城近

政節潜た、午後一時半には馬能 近藤 響音を持つて

て御参加下さ!

健康報國を目的として靈峰金剛山探勝行を本夏も計畫しましな絶壁の彼方に深線を以て裝ふ時、本社は長期戰下國民體句の例の水奔る溪谷のほとり、また典雅なる寺刹を背景に或は削い

例の水布る渓谷のほとり、また紺碧の七月の空にくつきりと一

府民武道 大會馬術競技 一體の妙技

|将内南部武町四四三番車(松 | 多雨電バス(駅南一八九八號五十|| 弘敦して阜市11室岩|| 廿八日午後一時三分|| 島街道坂道)で松鳥から参山に届|| ほ参山警 飛出した子に

人家)が保証中間万に小兄が飛り、 人家)が保証中間万に小兄が飛り、

よく歌聞した郷土の場には花輪が

京山栗人

字野 浩二譯編

定價 一圓五十

七月五日 午前九時六分 外金剛着七月四日 午後十一時卅五分 京城驛發

田

1ティンゲル博田 頼子譯編 定貨 』順平戦

かへり

七月六日

八夫を毆殺す

裁

長期預金の

一鳥を狙ふ妙案『定額貯金』

明春早々お目見得

きれし方に乍發見御通知下

(槇柏) 次難に 失禮薄謝を呈きれし方に乍

質賞

才

特别案内 ピスト募集

符殊南京虫撃滅劑王國産優秀デリス

野

彩翠園

驛 韓 韓

きんだげん うんしこう かんしく 通過

周

壽

己株式の酸型板質糖プ設定及移輸プラ酸面=其ノ技術学の第十四條プ規定三依り七月一日ヨリ第六回定時株主機會 城地方鐵道

明和十六年六月二十日 横 葉 株 式 食品 医神子次氏 医甲基氏

・ 交通が便利サルオー ・ 焼肉焼酸 / 充實セルコト ・ 生活ガシャスクラナンダカ住ミ ・ 心地ノヨイコト

四ル・アル東ニ境産ラナスタメ今回等務者ノ

美容が開発を表する。

美容・第十段研究生産

は日本家庭教育所大會原 地震を表現で、2000年 用所長月収全百油位、2000年 のでは、2000年 Justin Marine Branch and a section

西遊記

新方が紹興する。在一世

京城一番町六十一図のあり

タオル切符制 大邱も一日から

ののが、今日との頃の京城の署さ、をつなぎ合せるとざつ上の銀柱が平壌で九十度まで跳ね上、デーが四百八十六萬七三

卵単はいづれる大阪また一つ

鮮産の苹果が

内地へ流る

今日の天氣

日本一ノー

一ノ忠 隈 炭ース 東

礦

京城の灼熱を冷す

安眠、

健康を害する敵 入院隨意(傳染病

午前六・○○ (東) ラジェル像六・□○ (東) 管架 (レコード)六・四○ (東) 管架 (レコード)六・四○ (東) 情気しとは 新生」活の第一歩 第一放送三十日(日 朝の部 日(月

毛をはやす新療法 **豊橋市西八丁一** ду. 强い歯だ



廿五日ヨリ 特選洋動大震 (日曜日午邮拾時拾五分ョル)

典業銀行 告シ表社満排可會武セ券發 二十九日年リ七月五日マデ

此繼銀拓タ元府植券目拓月 設ニ行植ル利ノ株へ發殖五 公開代公鮮支護式第行債日

吉

の一助ともなると信げるものをあった。の一助ともなると言げるものを優力を称うのというであります。大は始くとは特を用して、はまの大きながらない。 せられて居り國民の相望





六月」平五日とり 元別戦の第一人電 一次での氏言 第一、被が加え上 第二、相のジュー 第二、相のジュー を表している。 本人の日言 本人の日言 本人の日言 和學想朝日底 图 1

浪花館

ンセロニ 成定地内

二十六日申リ上映

騙坊づちゃん。

ビャ白騎隊













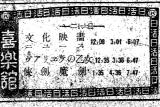
だ歯いし美

磨齒煉中堂生質

場内大修理の第 の休館致じます **売 角に名自** re winter an en en en en en



上亂舞 12,01 3,20 6,30 要 1,30 4,39 7,59



勝利の歷史 12,00 2,20 4,40 7,10

日曜早朝九店附場





東星、覇権を獲得 全鮮中等學校對抗庭球終る

第十日で前八時から京城司銀町 大原城を作得した【電賞=家藤の九日下前八時から京城司銀町 大原、三十二で京原郷が安藤、賦売と次文中県が安藤、賦売と次文中県が火藤駅に何今と「東西と東文中県が火藤駅に何今と

ジオ讃様

界美人群游寫眞

元の『健康』が第1位 正順の『歌注』が第1位 原本式、早川 面食寮

(平山 四十 三 (新州 四十) (総開)

事變記念週間(第1日)

日(火)

明日のきょもの 日本男女活動俳優銘鑑

九・四〇 初歩機調機座 成 乗 業

一會議所議員の使命

應せんとす